

第15回全日本ユース(U-15)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2022/12/24】

この試合のプレー集計

準々決勝

岡山県選抜

7	<table style="border-collapse: collapse; margin: 0 auto;"> <tr><td style="padding: 2px 10px;">0</td><td style="padding: 2px 10px;">－</td><td style="padding: 2px 10px;">2</td></tr> <tr><td style="padding: 2px 10px;">1</td><td style="padding: 2px 10px;">－</td><td style="padding: 2px 10px;">4</td></tr> <tr><td style="padding: 2px 10px;">4</td><td style="padding: 2px 10px;">－</td><td style="padding: 2px 10px;">3</td></tr> <tr><td style="padding: 2px 10px;">2</td><td style="padding: 2px 10px;">－</td><td style="padding: 2px 10px;">3</td></tr> </table>	0	－	2	1	－	4	4	－	3	2	－	3	12
0	－	2												
1	－	4												
4	－	3												
2	－	3												

高知県選抜

PSO

審判： 潮崎 正一
縄井 裕平

岡山県選抜	14	SH数	22	高知県選抜
	0	速攻数	5	
	7	ST・SB	11	
	6	SH・P誘発アシスト	10	
	25%	GK阻止率	13%	
	4	EX反則数	3	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

1回戦快勝した岡山と、前回大会のMVPローリーを要する高知との準々決勝。岡山はどこまでローリーを抑えられるかが勝負の分かれ目。

【1P】

お互いにチャンスをつかむものの、決定的な場面にまで至らず長いラリーが続いたが、それを破ったのはやはり高知⑦ローリー。岡山の退水攻撃時のシュートミスを突き、⑦ローリーが中央を抜けだしてシュートを決めて高知が先制。さらに高知は退水誘発から2点目を決め、第1ピリオド、岡山0－2高知。岡山の攻撃がもう少しゴール前まで泳ぐ形であれば、高知⑦ローリーが後方DFへ回らざるを得なくなるが、そうした圧力が不足していた第1ピリオドだった。

【2P】

高知はコンパクトに守って、岡山の外周シュートを誘い込み、そこからの飛び出しで主導権を握る展開が続く。飛び出しもそれほど人数をかけずにDFとの泳ぎ合いで勝り、前に入ってから退水誘発→得点、と効率的な水球試合運び。岡山も退水誘発場面も出るなど、チャンスは掴むものの、退水セット攻撃に威圧感がなく、結局は外周シュートで決め手を欠くという流れ(岡山③近藤のミドルシュートによる1点)。徐々に水球の試合運びの差が出てきた第2ピリオド。岡山1－5高知という状況で前半を折り返した。

【3P】

このピリオド前半は高知⑦ローリーが爆発。岡山側の攻撃力を読み切った形で積極的に前へ出て、伸びのあるシュートで連続得点。しかし、岡山側もようやくゴール前に圧力をかけた攻撃ができるようになり、④丸山がドライブ攻撃とセンターSHで連続得点して、このピリオドは互角の展開に持ち込む。岡山5－9高知という4点差で最終ピリオドへ。

【4P】

勝負の最終ピリオド、岡山が退水を誘発して④丸山が決めて3点差に詰め寄ったが、高知は④岡村がミドルSHを決めて再び4点差に。このピリオドでも、やはり高知⑦ローリーの動きは抜きんでいて、追いつがる岡山を突き放すこの試合8点目を決めて、勝負を決した(岡山7－12高知)。

高知の勝因はコンパクトに守り、岡山側が前に出られないようなDF陣形を敷けたことだろう。岡山側はその意味では仕掛けがやや遅く、ボールを右前に運ぶことも多くなかった。相手のDF陣形を崩す工夫が不足したことが敗因。その意味ではこのメンバーでの実践経験不足が最後まで響いた形となった。

勝った高知は2年連続ベスト4以上に進出。どこまで伸ばせるか楽しみでもある。